

7 その他国有林野の管理経営

7 その他国有林野の管理経営

(1) 人材の育成

「国民の森林^{もり}」の管理経営にふさわしい人材を育成するため、公益重視の管理経営の一層の推進とともに、生物多様性の保全や林産物の安定供給等、民有林との一体的な施策の推進を踏まえ、森林・林業に関する専門的かつ幅広い知識や技術等について、森林技術総合研修所や各森林管理局が連携を図りながら研修を行っています。

平成25年度には、低コストで効率的な伐採・採材・搬出による適切な収穫業務や木材の流通・加工システム、民有林との連携等に関する実践的な知識及び技術を習得させるための研修等を実施するとともに、引き続きOJT^{*}、民有林行政等との人事交流にも取り組みました。

事例 民有林の林業技術者等との合同研修の実施

民有林行政とのより一層の連携を図るため、森林技術総合研修所では、都道府県職員と国有林野事業職員に共通してニーズのある内容について合同研修を実施しています。

平成25年度には、地域の森林整備・木材生産の現場において適切な安全指導ができる技術者を育成するため、座学だけでなく、安全作業の実習や機械器具の取扱いの講習等の実践的な研修を実施し、林業事業体の労働災害防止に向けて活発な意見交換等を行いました。

(森林技術総合研修所)



場 所：群馬県沼田市 ねりやま 根利山国有林、林業機械化センター
説 明：写真は、伐倒実習の様子（上）とチェーンソーの分解・組立実習の様子（下）です。

（２）地域振興への寄与

国有林野は、国民共通の財産であると同時に、それぞれの地域における資源でもあり、地域振興への寄与は国有林野事業の重要な使命です。

そのため、林産物の安定供給（87ページ参照）、事業の民間委託や技術指導等による事業体・人材の育成（23ページ、27ページ参照）、国有林野の貸付けや売払い（95ページ参照）、森林空間の総合利用（97ページ参照）、分収林制度の活用（41ページ参照）、民有林と連携した森林施業等の推進（25ページ参照）等を通じて、林業・木材産業をはじめとする地域産業の振興、地域の活性化、住民の福祉の向上等に貢献しています。

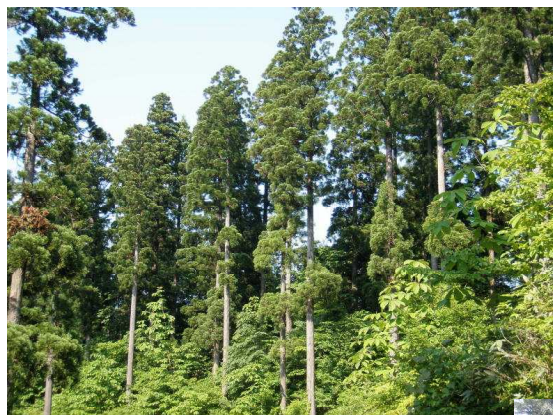
事例 地域の伝統産業の振興に向けた木材供給

秋田県は江戸時代から優良な天然秋田スギの産地であり、天然秋田スギの大径材を用いた「曲げわっぱ」等の伝統工芸品産業も発展してきました。

米代東部森林管理署では、「曲げわっぱの森」を設定し、木の文化の普及啓発を図りつつ、主伐時期を150年とした超長伐期施業にも取り組んでいます。

平成25年度には、およそ90年生のスギ林で抜き伐りを行い、それにより得られた木材を、地域の伝統工芸品用材等として供給し、地域文化の継承に寄与しました。

(東北森林管理局 米代東部森林管理署)



場 所：秋田市大館市 はやぐちさわ 早口沢国有林
説 明：写真は、超長伐期施業地の様子です。

（３）東日本大震災からの復旧・復興への貢献

東日本大震災からの復旧・復興については、地域に密着した国の出先機関として地域の期待に応えた取組を行ってきました。

被災した海岸防災林の復旧・再生については、専門家からの意見も踏まえて、生物多様性の保全にも配慮しながら取り組んでいます。樹木の生育基盤の造成に当たっては、安全性が確認された災害廃棄物由来の再生資材も盛土材として積極的に活用し、その後の植栽については、企業やＮＰＯ等の協力も得ながら取り組んでいます。

関係機関と協力しながら、生活圏周辺の国有林野の除染や地域の復興に必要な国有林野の貸付等に取り組むとともに、福島県内の国有林野をフィールドとして、森林における除染に関する知見の集積や技術開発のための実証事業に取り組みました。

また、放射性物質の影響により供給不足となっているきのこ原木の供給等を通じ、全局を挙げて復興支援に取り組みました。

（４）関係機関等との連携の推進

国有林野事業の推進に当たっては、これまで労働組合との共通の認識に立って取組を円滑に進めるとともに、関係行政機関等との連携に努めてきたところです。引き続き、様々な森林・林業・木材産業関係者等との情報共有を図り、相互の理解と協力の下、連携した取組を推進するよう努めています。

事例 生物多様性に配慮した海岸防災林の復旧・再生の取組

国有林野事業では、東日本大震災で被災した海岸防災林の復旧・再生に取り組んでおり、県から復旧の要請のあった民有林を含め、平成25年度までに延長約42kmに着手しています。

工事に当たっては、生物多様性の保全に配慮し、「仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会」を設け、環境調査を実施しつつ、地域の状況に応じた対策を行っています。

また、海岸防災林再生に当たっては、活動希望者の募集を行い、協定を締結した各民間団体による植栽も実施しました。

(東北森林管理局 仙台森林管理署ほか)



場 所：宮城県岩沼市ほか

説 明：写真は、生育基盤の造成が完了した海岸防災林（左）、仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会の現地意見交換会の様子（右上）、国民参加による植樹の様子（右下）です。

事例 生活圏周辺の国有林野の除染の取組

国有林野事業では、関東森林管理局に「森林放射性物質汚染対策センター」を設置し、地域の安全・安心を確保するため、関係行政機関と連携し、放射性物質に汚染された国有林野の除染等に取り組んでいます。

平成25年度は、市町村の除染実施計画に沿って、関係機関と連携しつつ、生活圏周辺の国有林野（6箇所、11.13ha）において除染を実施しました。

（関東森林管理局 森林放射性物質汚染対策センター）



場 所：福島県伊達郡川俣町 だてぐんかわまたまちはなづかやま
説 明：写真は、落葉等の堆積有機物の除去の様子（左上、右上）と、除去した落葉等を搬出している様子（下）です。

事例 森林における除染等実証事業

林野庁では、森林における除染に関する知見の集積や技術の開発のため、実証事業に取り組んでいます。

平成25年度には、平成24年度に引き続き、福島県相馬郡飯舘村^{そうまぐんいいたてむら}において、放射性物質の除去や拡散抑制に向け、間伐等の森林施業、落葉等の除去、木材チップや吹付等による被覆工等を実施し、作業方法別の経費や効果等の実証に取り組みました。

(林野庁)



場 所：福島県相馬郡飯舘村^{いいたて} 飯舘国有林
説 明：写真は、吹付等による遮蔽効果の検証の様子（上）、現地発生材のチップ化の様子（下）です。

事例 きのこ原木不足への対応

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響により、基準値を超えるきのこ栽培用の原木が出荷停止となったため、原木が全国的に供給不足となっています。

林野庁では、都道府県や関係団体等と連携し、安全な原木の供給に関する情報の収集や需給のマッチング等を行っており、米代東部森林管理署では、収集された情報を元に、需要者からの条件を踏まえ、福島県の需要者へ原木（菌床用）を供給しました。

（東北森林管理局 米代東部森林管理署）



場 所：秋田県北秋田市ほか

説 明：写真は、福島県へ向け原木をトラックで運搬する様子（上）と、搬出した原木（菌床用）（下）です。

(参 考)

1 用語の解説

用 語	解 説	頁
いくせいふくそうりん 育成複層林	森林を構成する樹木を部分的に伐採し、そのあとに植林を行うこと等により、年齢や高さの異なる樹木から構成される森林（複層林）。	6
えだう 枝打ち	ふし 節のない木材を生産すること等を目的に、立木の枝を切り落とす作業。	36
エリートツリー	成長が良く通直性等の形質が優れた第一次精英樹同士を交配して得られた個体の中から選抜した、より成長等に優れた第二世代以降の精英樹の総称。	30
かんばつ 間伐	育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。	6
グリーン・サポート・スタッフ	巡視、入山者への指導・啓発、簡易な施設補修、巡視結果の取りまとめ等を行う非常勤の職員。	59
こうえきてききのういじ 公益的機能維持 ぞうしんきようてい 増進協定	国有林野の公益的機能の維持増進を図るために必要であると認められる場合、国有林野事業により森林管理局長と協定を締結した民有林の、一体的な整備・保全を行うことを可能とする制度。	2
こうしん 更新	伐採等により樹木が無くなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。	33
こうせいのうりんぎようきかい 高性能林業機械	従来のチェーンソーや集材機等と比べて、作業の効率や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。主な高性能林業機械は、フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワード、タワーヤーダ、スイングヤーダ。	13
ごうはん 合板	丸太から薄くむいた板（単板）を、繊維（木目）の方向が直交するように交互に重ね、接着したもの。	52

用 語	解 説	頁
こくないきしょうやせい 国内希少野生 どうしよくぶつしゆ 動植物種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき指定された絶滅の恐れのある野生動植物種のこと。	78
こくゆうりん 国 有 林 モ ニ タ ー	国有林野に関心のある国民へ幅広く情報を提供するとともに、アンケートや意見交換等を通じていただいた意見・要望等を管理経営に活かすための制度。モニターは、公募により選定。	31
こたいぐん 個体群	相互に交流があるなど、何らかのまとまりをもって生育・生息する1種類の動物や植物の集合。	73
コンテナ苗	マルチキャビティコンテナ等の、根巻き防止等の工夫が施された容器で育苗した苗木。培地付きの苗木であることから、良好な活着や植栽の効率を高めることが期待される。	6
システム販売 はんばい	「国有林材の安定供給システムによる販売」の略称。間伐に伴い生産された間伐材等について、国産材需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む集成材・合板工場や製材工場等との協定に基づいて国有林材を安定的に供給すること。	91
したがり 下刈	植林した苗木等の成長を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。通常、植林後の数年間、毎年、夏期に行う。	30
しちょうそん しんりん せいび 市町村森林整備 けいかく 計画	「森林法」の規定に基づき、市町村が、管内の民有林を対象に森林関連施策の方向や造林から伐採までの森林の施業及び保護等の規範を示し、適切な森林整備等を推進するために5年ごとにたてる10年間の計画。	27

用 語	解 説	頁
しゅうせいざい 集成材	板材（ラミナ）を繊維（木目）の方向が平行になるよう、長さ、幅、厚さの各方向に接着した製品。柱材等の構造用集成材と階段材、床材等の造作用集成材に大別される。	91
じゅくわはつ 受 光 伐	複層林の造成・育成のため、下層の樹木の成長環境と光環境を確保するために上層の樹木を抜き切りする作業。	14
じょばつ 除 伐	育てようとする樹木の成長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。	49
しんこうこんこうりん 針 広 混 交 林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。	11
じんこうぞうりん 人 工 造 林	苗木の植付け、種子の播付け等の人為的な方法により森林を造成すること。	49
じんこうりん 人 工 林	人工造林によって成立した森林。	10
しんりんさぎようどう 森林作業道	特定の者が森林施業のために継続的に利用する施設であり、林道規程によらない道で、2 t積程度の小型トラックや林業機械（フォワーダ等）の走行を予定するもの。	15
しんりんせぎよう せぎよう 森 林 施 業 (施 業)	目的とする森林を造成、維持するために行う植林、下刈、除伐、間伐等の森林に対する人為的な働きかけ。	5
しんりんそうこうかんりし 森 林 総 合 監 理 士 (フォレスター)	森林・林業に関する専門的かつ高度な知識・技術を有し、「市町村森林整備計画」の策定等、市町村等へ長期的視点に立った森林づくりを計画・指導できる技術者。平成25年度から資格試験が開始。	27
しんりん りんぎようきほんけいかく 森林・林業基本計画	政府が、「森林・林業基本法」の規定に基づき、森林及び林業に関する各種施策についての基本的な方針等を示すおおむね5年ごとにたてる計画。	1

用 語	解 説	頁
せいたいけいいじかいふく 生態系維持回復 事業計画	「自然公園法」第38条の規定に基づき、国立公園又は国定公園における生態系の維持又は回復を図るため、国又は都道府県が策定する計画。主にシカによる自然植生等への食害や外来植物の侵入による在来植物の駆逐など、深刻な問題の発生を背景に、平成22年4月に創設された制度によるもの。	83
せかいしぜんいさん 世界自然遺産	「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づき作成される「世界遺産一覧表」に記載された物件のうち、世界的な見地から見て、鑑賞上、学術上又は保存上顕著な普遍的価値を有する特徴ある自然の地域、脅威にさらされている動植物種の生息・生育地、自然の風景地等。	59
ぜつめつぎぐしゅ 絶滅危惧種	環境省がまとめた日本の絶滅のおそれのある野生生物種のリスト（レッドリスト）において、絶滅のおそれのある種として選定されている種のこと。ⅠA類はごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの、ⅠB類はⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いものの。	72
そざいはんばい 素材販売	樹木を伐採し、丸太にして販売すること。	88
ちいきかんりけいえいけいかく 地域管理経営計画	「国有林野の管理経営に関する法律」の規定に基づき、国有林野の管理経営の考え方や伐採等の事業の総量等について、森林管理局長が流域ごとにたてる5年間の計画。	31
ちょうばつきせぎょう 長伐期施業	通常、主伐が行われる年齢（例えばスギの場合40年程度）のおおむね2倍以上の年齢で主伐を行う森林施業の一形態。	6

用 語	解 説	頁
きり つる切	育てようとする樹木に巻き付くつる類を取り除くこと。通常、下刈を終了してから、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。	49
てんねんこうしん 天 然 更 新	伐採跡地等において、主として天然の力によって次の世代の樹木を発生させること。自然に落ちた種子が発芽して成長する場合と樹木の根株からの発芽（萌芽）等により成長する場合がある。必要に応じて、ササ類の除去や発芽後の本数調整等の人手を補助的に加えることもある。	49
てんねんりん 天 然 林	天然更新によって成立した森林。	1
ふくそうばつ 複 層 伐	森林を構成する林木を部分的に伐採、又は上層木の全面的な伐採により、複層林へ誘導する伐採方法。	13
ぶんしゅうりんせいど 分 収 林 制 度	森林を所有する者、造林または保育を行う者、費用を負担する者の２者又は３者で契約を結び、森林を造成し、伐採後に収益を一定の割合で分け合う制度。国有林野事業における分収林は、契約相手方が造林・保育を行う「分収造林」と、育成途上の森林について、契約相手方に費用の一部を負担してもらう「分収育林」がある。	41
ほあんりん 保 安 林	水源の涵養、土砂の流出や崩壊の防備、生活環境の保全・形成等の目的を達成するため、「森林法」の規定に基づいて農林水産大臣等が指定する森林。指定されると、伐採等に一定の制限が課せられる。	17
ほいく 保 育	更新後、伐採するまでの間に、育てようとする樹木の成長を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称。	30

用 語	解 説	頁
りゅうぼくはんばい 立 木 販 売	樹木を伐採することなく、立木のままで販売すること。	88
りんぎょうせんようどう 林 業 専 用 道	主として特定の者が利用する恒久的公共施設であり、幹線となる林道を補完し、森林作業道と組み合わせて森林施業の用に供する道。「林道規程」に基づく道で、10t積程度のトラック等の走行を予定するもの。	15
ろもう 路 網	森林内にある公道、林道（林業専用道を含む。）及び森林作業道の総称、又はそれらを適切に組み合わせたもの。森林施業を効率的に行うためには、路網の整備が重要となる。	6
G I S	Geographic Information System（地理情報システム）の略で、地図や空中写真等の森林の位置や形状に関する図面情報と、林種や林齢等の文字・数値情報を、コンピューター上で総合的に管理、分析、処理するシステム。	107
N P O	Non-Profit Organization（民間非営利組織）の略で、「特定非営利活動促進法」の規定に基づき法人格を与えられた特定非営利法人（NPO法人）等。ボランティア活動を始めとする社会貢献活動を行うことを目的としている。	6
O J T	On-The-Job Training（職場内訓練）の略で、仕事の現場で、業務に必要な知識や技術を習得させること。	113

2 林野庁、森林管理局等のホームページアドレス

林 野 庁	http://www.rinya.maff.go.jp/
森林・林業基本計画	http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/plan/
国 有 林	http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/
国有林野の管理経営 に関する基本計画	http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kanri_kiei/kihon_keikaku.html
森林技術総合研修所	http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuuu_zyo.html
北海道森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/
東北森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/
関東森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/
中部森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/
近畿中国森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/
四国森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/
九州森林管理局	http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/
知床森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/
藤里森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/
津軽白神森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/
朝日庄内森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/
小笠原諸島森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/ogasawara/
屋久島森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/yakusima_hozen_c/
西表森林生態系 保全センター	http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/iriomote_fc/

石狩地域森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/
常呂川森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/
釧路湿原森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/
駒ヶ岳・大沼森林 ふれあい推進センター	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/komagatake_fc/
赤谷森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/
高尾森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/
木曾森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/kiso_fc/
箕面森林ふれあい 推 進 セ ン タ ー	http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
四 万 十 川 森 林 ふれあい推進センター	http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/simanto_fc/

図及び表の索引

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進

図－1	国有野の分布	10
表－1	森林管理局別の国有林面積	10
表－2	国有林野の機能類型区分ごとの目指すべき森林の姿	12
図－2	森林共同施業団地の現況	25
表－3	教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況	36
表－4	分収林の現況面積	41
図－3	全国の「木の文化を支える森」	47
表－5	更新、保育事業の実施状況	49
表－6	炭素の貯蔵に資する木材・木製品の使用状況	50

2 国有林野の維持及び保存

表－7	松くい虫被害の状況と対策	61
表－8	保安林の現況	67
表－9	保護林の現況	71
図－4	「保護林」と「緑の回廊」位置図	75
表－10	「緑の回廊」の現況	76
表－11	環境行政関係者との連絡会議の開催事例	83

3 国有林野の林産物の供給

表－12	収穫の実施状況	88
表－13	国産材供給量に占める国有林材（丸太）の割合	88
表－14	民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材（丸太） 供給実績	88

図－5	国有林材の供給調整の検討体制	90
表－15	素材販売量と「システム販売」による販売量	91
4 国有林野の活用		
表－16	国有林野の用途別貸付け状況	95
表－17	国有林野の用途別売払い状況	96
表－18	レクリエーションの森の現況及び利用者数	97
5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全		
図－6	公益的機能維持増進協定制度のイメージ	101
6 国有林野の事業運営		
図－7	国有林野事業の管理経営の実施体制	106
図－8	森林管理署の事業実施体制	106
図－9	国有林GISの活用	107
表－19	国有林野事業の債務返済状況	110
表－20	林産物等販売の状況	110
表－21	職員の災害の発生状況	110

各森林管理局の取組事例の索引

1 北海道森林管理局

溪流生態系の保全に配慮した治山工事の取組	20
ボランティアによる森林づくり活動への技術支援	46
溪畔周辺の保全等に向けた取組	55
知床におけるシカ被害対策の取組	65
防霧保安林の機能回復に向けた取組	68
シマフクロウの保護の取組	78

2 東北森林管理局

「市町村森林整備計画」作成への支援	28
「遊々の森」での中学生への林業体験の実施	38
新庁舎の建設における積極的な木材利用	51
ナラ枯れ被害の防除対策の取組	62
白神山地世界遺産登録20周年記念事業の取組	82
地域の安全確保に向けた国有林野の貸付け	96
猛禽類営巣地に配慮した施業計画の検討（国有林GISの活用）	108
地域の伝統産業の振興に向けた木材供給	116
生物多様性に配慮した海岸防災林の復旧・再生の取組	118
きのこ原木不足への対応	121

3 関東森林管理局

保健・レクリエーション機能の発揮に向けた針広混交林化の取組・・・	14
コンテナ苗を活用した一貫作業システムの実証・普及に向けた取組・・	22
「学びの森・高尾山」での森林環境教育の実施	40
「法人の森林」を活用した森林づくり活動	42
「社会貢献の森」による森林整備活動の推進	45
「赤谷プロジェクト」発足10周年における取組	56
グリーン・サポート・スタッフによる利用マナーの啓発	60
関係機関と連携した尾瀬の生態系維持回復に向けた取組	84
生活圏周辺の国有林野の除染の取組	119

4 中部森林管理局

国有林モニターに対する現地説明会の開催	32
未来につなげる「裏木曾古事の森」	48
治山事業等における木材利用の推進	52
木曾地方の温帯性針葉樹林の保存・復元に向けた取組	54
ライチョウの保護に向けた取組	79
「㊥㊥（マルコウマルコク）木曾ひのき」の取組	93
「レクリエーションの森」のサポーター制度	98

5 近畿中国森林管理局

集中豪雨により被災した民有林の被害調査への支援	19
複数年契約による間伐事業の実施	24
「地域管理経営計画」の策定に向けた地域懇談会の実施	33
農林業被害に対応したシカ捕獲の取組	64
宮島特定動物生息地保護林の新設	72
「緑の回廊」等における野生生物のモニタリング調査	74
ヤシャゲンゴロウの保護の取組	80

6 四国森林管理局

地域の安全・安心に向けた直轄治山事業の実施	18
エリートツリーの実用化に向けた取組	30
学年に応じた多彩な森林環境教育の実施	37
林道設計における路線の検討（国有林GISの活用）	108

7 九州森林管理局

水源涵養機能の発揮に向けた複層林化の取組	13
路網づくりを学ぶための現地検討会	16
森林共同施業団地における民有林と連携した施業の推進	26
森林環境プログラム「森の塾」の開催	39
「ふれあいの森」におけるマツ林の整備活動	44
農・林連携による鳥獣被害防止対策の取組	66
「システム販売」による小径木の需要拡大に向けた取組	92

8 森林技術総合研修所

民有林の林業技術者等との合同研修の実施	114
---------------------------	-----

9 林野庁等

「全国低コスト造林シンポジウム」の開催	34
---------------------------	----

地球温暖化防止に向けた健全な森林の整備の推進	50
------------------------------	----

国有林材供給調整検討委員会の開催	89
------------------------	----

「公益的機能維持増進協定」の締結	102
------------------------	-----

森林における除染等実証事業	120
---------------------	-----



林業遺産に選定された「木曾森林鉄道（遺産群）」のボールドウィン蒸気機関車
（中部森林管理局）